

柏市地方創生先行型事業 評価一覧					
事業NO	1	事業名	柏市総合戦略策定事業	担当課	企画調整課
目的	国の総合戦略を勘案しつつ、地域の実情に応じて効果の高い施策を集中的に生み出す「柏市地方創生総合戦略」を策定するため、これに必要な専門的な調査等を実施する。				
KPI	総合評価(人)	主な意見(要約)			
設定なし	(肯定的意見)	<ul style="list-style-type: none"> ●人口ビジョン策定においては、専門業者を活用した緻密な分析、人口推計を行うとともに、総合戦略の策定においては、市内を3地域に分け、柏市に住む動機付けについてブレインストーミングを実施し、活発な意見を得たことは非常に有意義であった。 ●柏の持つ地域特性を再確認し、独自の地方創生のコンセプトを明確にすることが出来たのではないかと考える。柏トータルで将来像を描くと同時に、総花的ではない実効性の高い戦略になっている。 ●地方創生加速化交付金で1事業が認定されたことは、選定した支援事業者および策定した戦略、事業の進捗への評価と考える。 ●長期ビジョンである「国の総合戦略」にフレキブルに対応できるよう、様々な視点(色々な立場の人)で意見交換が事業展開に反映することは大切であり、こうした場は継続的に実施するのが良いと思われる。 ●柏市の人口推移を基に、多様な委員の意見を整理し、市民と共有しやすいビジョンを示した点や地域に合った重点施策を設定したことは大変意義深いと評価できる。 ●これからの時代を担う若年層(高校・大学生)や留学生を含めた在日外国人の意見を反映できるような場の設定を、今後の展開で期待したい。 ●柏市第五次総合計画と整合し、客観的なデータを示し今後の戦略を検討する上での重要な仕様となったと思う。 			
	(否定的意見)	<ul style="list-style-type: none"> ●十分な討議がなされたかについては時間的な制約もあり、また、若干散漫なところもあったように思う。 			

柏市地方創生先行型事業 評価一覧

事業NO	2	事業名	地域交流拠点機能の強化	担当課	公園緑政課
目的	文化遺産と自然環境を有し、交流拠点として地域に根付いた「布瀬ふるさとの森」(市内手賀地域最東部)の機能強化を図るため、地域の特性を生かした創意工夫や地域住民の啓発に取り組む活動を支援する。				
KPI	総合評価(人)	主な意見(要約)			
①総合戦略のKPI達成に有効であった	8/10	<ul style="list-style-type: none"> ●手賀沼・東部地域流動人口という指標が長期的なゴールを据えているため、現段階で達成評価は不十分となるが、目標を共有化し、ボランティア団体の立ち上がりなど積極的な活動が今後に向けた期待となり評価できる。 ●地権者と地域住民、市で、地域保全や活性化に関する意識醸成を図ることができたこと、基本計画案の策定で目標・方向性を共有できたこと、管理団体を立ち上げたことを、評価します。真の意味で総合戦略のKPI達成に有効であったか否かは、今後の活動の継続にかかっていると考えます。 ●一過性のものに終わらせないためにも、イベント参加者の増加等、より多くの方の理解や協力が必要であることから、市のHPや広報誌等様々な媒体を使って活動自体の周知や過程の共有を図っていくことを期待する。 			
②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	2/10	<ul style="list-style-type: none"> ●手賀沼・東部地域への流動人口の増加という観点からは本事業は有効とは言えない。特定の層を対象とした事業という印象で、今後広がりを持つイメージが出来ない。事業実施と併せて、本地域の認知度向上のための情報発信を積極的に行うことも検討してはどうか。 ●目標値をH32とする流動人口としているため、今の時点では判断できないが、「非常に効果的であった」という自己評価の根拠はどこにあるのか？H27/10月から年度末までの取り組みが、地権者や関係者を集めた意見交換と同日開催のイベントであり、その後、将来の流動人口増につながるような活動が継続的に行われ、進展しているのかどうかなどのトレースが必要である。 			

柏市地方創生先行型事業 評価一覧

事業NO	3,10	事業名	道の駅における地域拠点機能の強化及び地域活性化に向けたネットワーク形成事業(手賀沼アグリビジネスパーク事業)	担当課	農政課
目的	手賀沼周辺地域では都市型農業が盛んに営まれているが、近年、農業の産業力低下、地域内人口の減少が大きな課題となっている。これらの課題を解決し、手賀沼周辺地域全体の地域活性化を図るため、道の駅とネットワークを形成できる施設(手賀沼フィッシングセンター等)や機能(農業体験・自然環境等)と連携した取組みの実証実験を行い、新たな都市農村交流地域を目指す。				
KPI	総合評価(人)	主な意見(要約)			
①総合戦略のKPI達成に有効であった	9/10	<ul style="list-style-type: none"> ● 計画的に実証実験を行うなど、手賀沼周辺地域全体の活性化を通して流動人口の増加につなげていくステップが踏まれている。 ● 「きっかけ」としては有効。 ● 手賀地域の農業振興と手賀沼の魅力発信に繋がっていると感じる。 民間の自主的取組みのしかけにもなっていると思われる。 ● 「あそこに行けば何かやっている」というイメージを持たせるためには定期的、かつ集中的にイベント等を開催していくことが重要と考える。ハード面の整備と併せて、積極的なPRも重要。 また既存資源の有効利用の観点から「手賀沼フィッシングセンター」の利活用には期待。 ● 参加者対象が既存市民であるのか近隣市民、都内在住者など具体的な指標を持つことで、新しい評価視点が見え、事業検討も深まるのではないか。 ● 今後は補助金に頼らない運営軌道に乗るまでの時期やしくみの見える化を期待したい。 			
②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	1/10	<ul style="list-style-type: none"> ● 指標②③について、件数が少ないので費用対効果としての判断ができるのかどうか分からない。 			

柏市地方創生先行型事業 評価一覧

事業NO	4	事業名	ジョブコーディネーター配置事業補助	担当課	福祉政策課
目的	平成22年から平成25年まで市の事業として行ってきた、生きがい就労の継承による高齢者の就労機会の確保				
KPI	総合評価(人)	主な意見(要約)			
①総合戦略のKPI達成に有効であった	10/10	<ul style="list-style-type: none"> ●柏市シルバー人材センターの会員数を前年度と比較し、2,236名増加させたことは評価したい。 ●自分では気づかない自分自身の強みを、本事業で配置したジョブコーディネーターが発見し、ニーズと上手くマッチングすることで就労意欲のある高齢者に就労機会を確保出来たことは、非常に有効であったと考える。 ●今後、市内で高齢者が増える中で、地方創生の主眼の一つである「しごと」を増やす取組として効果的な事業であった。より就労機会の拡大方法(ビジネス領域の拡大)を検証し対応いただきたい。 ●市内在住の高齢者の中には、このような取り組みを把握していない方もいると思われるので、さらに案内も強化し人材センターの会員数とともに就労者を増やす事業活動に期待。 ●ミスマッチ解消や高齢者就労システムの更なる強化のために、ジョブコーディネーターのスキルアップ研修などの導入も考えられる。 			
②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	0/10				

柏市地方創生先行型事業 評価一覧

事業NO	5	事業名	新規参入事業者支援事業	担当課	商工振興課
目的	地域に密着した商店街での開業者を支援することにより、地域経済・コミュニティの拠点となる地域商店街の活性化を目指す。				
KPI	総合評価(人)	主な意見(要約)			
①総合戦略のKPI達成に有効であった	8/10	<ul style="list-style-type: none"> ●中心エリア外の商店街活性の為に支援を行うことは総合戦略上有効な取組みだったと思うものの、一過性の事とせずに出店者に対する継続的なアフターフォロー、支援が重要だと考える。 ●地域商業や地域コミュニティの活性化が図られることについて評価したい。 ●地元商店街が主体的に関わって、継続的に新規事業所を盛り立てていく条件整備をしていくことが重要であるが、そのための主要な成功要因は何かを整理しておく必要があると考える。 ●コミュニティ拠点が開設できたことは評価できるが、地域経済の活性化にどこまで寄与しているか、またコミュニティが活性することによって得られたことなどを明確にし、せっかく開設した拠点を発展させていくことが課題であると考え。 ●本事業における一次公募、二次公募それぞれ応募が一件ずつ。応募数の少ない原因を分析して、応募件数を増やし支援の効果を活かすための事業変革が必要と考える。 			
②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	2/10	<ul style="list-style-type: none"> ●本事業によるコミュニティスペースの出店は、市内事業所数の増加というKPIの趣旨から直接的とは言い難い。「柏市の産業を活性化し、安定した雇用を創出する」という基本目標を踏まえた上で、KPI達成のための直接的な事業を検討してはどうか。 ●事前の地域住民ニーズ調査の結果を踏まえてコミュニティカフェを設置したことは評価できるが、開業後の地域への波及効果を見ると開業前後での変化が見えにくく、現段階では評価が難しいという主旨で有効とは言えない評価をした。 評価指標を出店数だけではなく、利用者数やその世代など市として期待するビジョンを示しそれに対する効果指標を追加することを期待する。 			

柏市地方創生先行型事業 評価一覧

事業NO	6	事業名	企業誘致推進事業	担当課	商工振興課
目的	柏市における事業環境をPRLし、市内立地の優位性を広報するためのパンフレットを作成し、企業誘致活動時のツールとして活用・頒布する。				
KPI	総合評価(人)	主な意見(要約)			
①総合戦略のKPI達成に有効であった	9/10	<ul style="list-style-type: none"> ●企業立地を進める上で、まずは認知してもらうことが重要であり、そのためのパンフレット作成は有効である。また立地を検討している企業にとっては、事業環境に係る情報は立地の意思決定の際に非常に重要な情報である。外資系企業については、引き続き、企業ニーズ情報を多く保有するJETRO等と連携した取組を進めていくべきである。 ●企業誘致活動におけるツールとして従来にない、より戦略的なパンフレットを作成し、H28.4～7月の間に3社の誘致に成功したことは評価できる。 ●目標値には届いていないが、半年間で14件の立地相談があり、英語版もあることで外資系企業への展開も視野に入れている点は評価ができる。 ●英語版以外の言語版作成も検討されてはどうか。(最近では企業側が発信するツール類も多言語化されることが多いので) また、パンフレット内容をWEBサイト上で展開も必要。 ●KPIは誘致企業数ということだが、目標値50件の最終年度が示されていないため、本事業のパンフレットがどれくらいの期間でどのように活用されるのかによって、有効性が異なってくると考えられる。H28.4-7月の3社立地成功は、このパンフを配布後の成果かどうか、因果関係の確認が必要。 			
②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	1/10	<ul style="list-style-type: none"> ●パンフレットや冊子作成が有効な手段か否か検討が必要だと感じる。 例)関係者と直に話せる場面・人材確保に力を入れて確実なコネクションづくり、HPやチラシ類を情報の集約として活用 			

柏市地方創生先行型事業 評価一覧

事業NO	7	事業名	創業・起業支援事業補助	担当課	商工振興課
目的	地元経済界と連携(柏商工会議所への補助)することにより、創業予定者及び創業して間もない経営者等に対し創業支援を行い、本市での創業の促進を通じた産業の活性化を図ることを目的とする。				
KPI	総合評価(人)	主な意見(要約)			
①総合戦略のKPI達成に有効であった	10/10	<ul style="list-style-type: none"> ●仕事の創出として創業支援を行う事により、柏市は創業しやすい市であるとの認識を持たせる事が出来たと思う。 ●参加者による評価の高さ、事業の開催頻度、達成度から効果があったと評価できる。 ●創業者を育成し長期的な視点で地域の産業活性化に繋げていこうという取り組みは、地方創生の趣旨に合致すると考えられる。 ●先輩創業者の体験談、ビジネスゲーム、ビジネスプランの作成、人脈形成など、会社経営をする上での必要なノウハウ等が得られる本事業は非常に有効である。 ●参加者同士の人脈形成が新たな創業者を生んだり、地域内の雇用創出につながることを長期的に期待していきたい。 ●他自治体ではなく柏市で創業したいと思わせるよう、更なる支援内容の充実とPRで、より高い効果を期待。 ●柏商工会議所と連携し、事業推進に不可欠な地域の人脈を巻き込んだ「創業塾」の卒業生の継続的なサポートが課題。 			
②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	0/10				

柏市地方創生先行型事業 評価一覧

事業NO	8	事業名	地域子育て支援拠点における子育て支援サービス機能強化事業	担当課	子育て支援課
目的	子育て中の方の孤立防止や子育てのサポート強化に視点を置いた専門研修を地域子育て支援拠点(児童センター)の児童厚生員を対象に実施。こうした新規プログラムの導入や施設内の安全性・環境を整えることで、子育て支援の機能強化を図る。				
KPI	総合評価(人)	主な意見(要約)			
①総合戦略のKPI達成に有効であった	10/10	<ul style="list-style-type: none"> ●参加者の満足度が高く、研修参加者が多いことから支援側の人数充実が図られたことは評価に値する。また、参加者負担も導入することで、事業の継続性や市民との協働視点が評価できる。 ●子育てに喜びを感じた保護者が増えることは、子どもにとっても非常に大切だと考える。そして満足度の高い受講者は、ぜひこの事業の周知の一助になっていただけるようなプログラムにしていっていただきたい。 ●児童厚生員は、子育て中の方と直接に接する者であり、孤立防止において大きな役割を担う者である。その児童厚生員のスキルアップ、意識変革等が図れた本事業は非常に有効であると考えられる。今後、研修を受けた児童厚生員が中心となり、子育て中の方の孤立を増やさない取組が進められることを期待する。 ●研修プログラム修了生の数を増やす事と、子育て中の孤立防止・子育てサポート強化のつながりが見えると良いと思う。 ●当初設定の指標値が低いと考える。ざっくりとした指標ではなく、「柏市で子育てすることに期待が持てた」等意識変化が明確な評価項目も検討していくことを期待したい。 ●KPIの基準値および目標値の根拠がわかりにくい、子育て環境がより改善されているかどうか独自の指標をもってトレースしていく必要があると考える。 			
②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	0/10				

柏市地方創生先行型事業 評価一覧

事業NO	9	事業名	子育て施設(幼稚園・保育園)における子育て支援事業	担当課	保育運営課
目的	全ての子どもへ良質かつ適切な支援が求められる中、市全体の教育・保育の質の向上を目指す。その一環として幼稚園や保育園の施設利用世帯へ子育ての安心感・満足感を提供するとともに、非利用世帯も各取り組みに参画できる機会を提供する。				
KPI	総合評価(人)	主な意見(要約)			
①総合戦略のKPI達成に有効であった	10/10	<ul style="list-style-type: none"> ●在園児と未就園児がともに参加する事業が児童間や保護者間の交流の場となり、非利用世帯も各取り組みに参画できる機会を提供できたことは評価できる。 ●柏市への愛着向上という視点では、他にも様々な体験ができる施設・場所があると思うので、そこでの体験や教室などを実施していただくことも検討して頂きたい。 ●①幼稚園に関する情報提供について、とても良いと思う。充実と同時にどんなサービスがあって、どのように活用するか発信されるのが望ましい。 ●子育て世代への取り組みは人口増加(減少させない)に対して重要な事項であり、満足度からも効果は高いと考える。特に市内のホームタウンチームによる指導は柏市内完結型として仕事の創出にもつながっていると思い、更なる市内完結型を検討してもらいたい。 ●補助金交付がイベント実施に偏る恐れがないか不安も残り、事業費が比較的大きいことから、受益者の満足度だけではなく、本来の目的「施設利用世帯への子育ての安心感・満足感を提供」「非利用世帯の参画機会創出」との照らし合わせを行ってほしい。 			
②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	0/10				

柏市地方創生先行型事業 評価一覧

事業NO	11	事業名	地域資産の魅力向上事業	担当課	都市計画課
目的	手賀沼周辺地域を含む東部地域は、地域資源の老朽や人口の減少、高齢化により地域の活力は減少し続けているが、良好な自然景観や歴史的景観を有する地域でもある。そこで、地域に残る歴史的景観資源を観光拠点として活用し、交流人口の拡大を今後図っていく。				
KPI	総合評価(人)	主な意見(要約)			
①総合戦略のKPI達成に有効であった	8/10	<ul style="list-style-type: none"> ●柏の景観について改めて認識を共有し、市民活動団体が立ち上がったことは、柏のアイデンティティやまちづくりが積極的に展開されていく核ができたという意義は大きいと考える。 ●今後は、同様の市民団体や地域住民、柏市役所他部署と連携し広くPR活動を行いながら事業継続することが大切で、それにより手賀沼・東部地域流動人口の拡大に寄与すると考える。 ●景観重要建造物に認定し保存する事は市内の見どころとしての位置付けでは必要と考える。 しかしその建造物に人が集まるかは不明であり、他の手賀沼地域の資源とのコラボが必要。 ●交流人口の拡大に向けては現場までのアクセスや観光資源としての認知度拡大のための広報戦略も繋がることから、その点との連携についての検討して欲しい。 ●手賀沼アグリビジネスパーク事業との連携も視野に、手賀沼の観光資源を活かした東部地域の活性化につなげてほしい。 			
②総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	2/10	<ul style="list-style-type: none"> ●市民をターゲットにするのであれば、シンポジウムよりも、現場を市民が活用しながら交流するような仕組みがあった方が効果的なのではないかと思う。 ●本事業単独では手賀沼・東部地域流動人口の増加を図ることは難しいと考えられる。地域外から人を呼べる事業かどうかを基準に考えてはどうか。 			